

令和6年度学校評価アンケート結果について

都立立川高等学校定時制課程
学校運営連絡協議会評価委員会

〔はじめに〕

立川高等学校定時制課程の学校評価は、経年変化を確認するため、平成10年度より質問項目を変えずに実施している。

平成26年度より、生徒の体罰と暴力に関する質問項目が全都立高校での実施が義務付けられた。

平成30年度より、保護者と教職員の質問事項に「教職員のライフ・ワーク・バランス」の取り組みに関する内容についての質問が義務づけられた。

令和4年度より、統合型学習支援サービス（Microsoft Office 365）活用した学校評価アンケート方法に変更とした。集計作業も『office365』を活用して業務の効率化を図った。

第一に、教員や生徒にはteamsにformsで作成したQRコードよりアンケートを実施した。

第二に、保護者には、アンケート案内にQRコードの画像を張り付けたものを配布し、回答を得た。また、保護者連絡システムにformsのURLを貼り付け、こちらからもアンケートを実施できるようにした。

今年度の回答率は、	一昨年	昨年	今年	前年比
生徒	76.3%	78.1%	76.4%	-1.7%
保護者	30.0%	21.9%	32.9%	+11.0%
教職員	100%	100%	92.3%	-17.7%

であった。

昨年度比で生徒の回答率はほぼ変わらなかった。保護者の回答率は増加したが、依然として3分の1にも届いていないことから更に回答・回収方法を改善する必要がある。保護者をはじめ全体の回答率を上げていくために、来年度は、生徒・保護者との連携をより深め、数値の上昇を目指していく。

<参考>

回答者数/生徒（教員）数…生徒アンケート107/140、保護者アンケート46/140、教員アンケート12/13
平均回答時間…生徒アンケート4分52秒（1分42秒）、保護者アンケート4分02秒（3分54秒）、教員アンケート7分27秒（5分37秒） ※（ ）内は昨年度の数値。今年度はアンケート回答時間が増加している。

1 生徒アンケート

（1）過去との比較

①肯定の割合の高い（85%以上）項目	一昨年	昨年	今年	前年比
（5）疑問や質問に的確に対応	81%	88%	90%	+2%
（15）体罰や暴力をなくす	81%	85%	89%	+4%
（4）授業は分かりやすい	81%	87%	86%	-1%
（7）生徒の悩みや困りごとの相談対応	82%	88%	85%	-3%
（1）立高生活は生徒にとって有益	80%	82%	85%	+3%
②他に比べて肯定の割合が減った（5%以上）項目				
（8）進路についての情報提供	81%	81.8%	76.6%	-5.2%
（13）適切な安全に関する指導	75%	83.5%	77.6%	-5.9%
（14）施設・設備の充実	78%	83.5%	77.6%	-5.9%

15項目中5項目（昨年14項目）について肯定の割合が増加した。10項目（昨年1項目）で肯定の割合が減少した。

2 保護者アンケート

（1）過去との比較

①肯定の割合の高い（90%以上）項目	一昨年	昨年	今年	前年比
（1）学校生活は将来にとって有益	90%	91%	98%	+7%
（7）生徒の悩みや困りごとの相談対応	77%	85%	91%	+6%

②他に比べて肯定の割合が減った項目は	一昨年	昨年	今年	前年比
(4) 授業は分かりやすい	85%	⇒ 88%	⇒ 87%	−1%
(6) 家庭との連携	73%	⇒ 82%	⇒ 78%	−4%
(11) 生徒会活動が活発	56%	⇒ 62%	⇒ 61%	−1%

16項目中13項目について肯定の割合が増加した。3項目で肯定の割合が減少した。

肯定の割合が10%以上増加した項目は(12)部活動が活発、(14)施設・設備の充実、(16)教職員の「ライフ・ワークバランス推進プラン」であった。

3 教職員アンケート

(1) 過去との比較

①肯定の割合の高い(100%)項目	一昨年	昨年	今年	前年比
(4) 分かりやすい授業の工夫をしている	93%	⇒ 100%	⇒ 100%	±0%
(15) 体罰や暴力をなくす取組	100%	⇒ 85%	⇒ 100%	+15%
②他に比べて肯定の割合が低い(55%以下)項目	一昨年	昨年	今年	前年比
(11) 生徒会活動が活発	57%	⇒ 31%	⇒ 42%	+11%
(12) 部活動活動は充実している。	50%	⇒ 46%	⇒ 42%	−4%
(14) 施設・設備の整備	43%	⇒ 31%	⇒ 50%	+19%
(16) ライフ・ワーク・バランスの実現	50%	⇒ 39%	⇒ 50%	+11%

16項目中6項目について肯定の割合が増加した。1項目で横ばい、9項目で肯定の割合が減少した。

(2) 成果と課題

①前年度から肯定的な意見が増加した項目の割合は、生徒アンケートが**33%**(昨年93%)、保護者アンケートが**81%**(昨年81%)、教員アンケートが**38%**(昨年38%)であった。生徒アンケートにおいては肯定的な意見の割合が10項目において減少したが、いずれも6%未満の減少に留まった。また、教員用アンケートにおいて肯定的な意見の割合が9項目で減少したが、そのうち5項目が5%未満の減少に留まった。肯定的な意見の割合が過去10年間で**最高**であった項目は、生徒アンケートにおいて、項目(1)、(5)、(6)、(15)の4項目、保護者アンケートが(1)、(13)、(16)の3項目であった。これらのアンケート結果から、全体的には**現状維持以上の成果を得た**と言える。

②項目(15)体罰や暴力をなくす取組においては、生徒・保護者・教員の全てにおいて肯定的な意見の割合が昨年以上となった。また、項目(15)に加え、項目(4)分かりやすい授業、及び(5)教員は疑問や質問に的確に対応の3項目については、生徒・保護者・教員の全てにおいて肯定的な意見の割合が85%以上であった。**教員個々が親身になって対応し、組織的にも取り組むことができている結果**である。

③項目(1)立高生活は生徒にとって有益、(12)部活動の充実の2項目について、生徒・保護者と教員のアンケート結果が対照的になった。このことは、教員の育成すべき生徒像とのギャップが原因であると考えられる。また、項目(10)学校行事は生徒にとって有益についても生徒と保護者・教員で差があった。これらの項目においては、良い方向に意識の差が縮まるように改善を要する。

【肯定的な意見の割合】※ ・・・過去10年で**最高値**、 ・・・過去10年で**最低値**

赤文字・・・昨年度より**増加**、**青文字**・・・昨年度より**減少**

アンケート	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)
生徒	85%	78%	81%	86%	90%	80%	85%	77%	82%	74%	62%	76%	78%	78%	89%	
保護者	98%	83%	78%	87%	89%	78%	91%	76%	83%	89%	61%	72%	89%	87%	89%	72%
教員	63%	75%	58%	100%	92%	92%	83%	83%	92%	83%	42%	42%	92%	50%	100%	50%

(1)立高生活は生徒にとって有益(2)立高生活は充実(3)立高は他校にはない特色がある(4)分かりやすい授業(5)教員は疑問や質問に的確に対応(6)家庭との連携(7)気軽に相談でき、対応する(8)進路についての情報提供(9)一人一人を大切にした進路相談の充実(10)学校行事は生徒にとって有益(11)生徒会活動が活発(12)部活動の充実(13)適切な安全に関する指導(14)施設・設備の充実(15)体罰や暴力をなくす取組(16)ライフ・ワークバランスの推進